

頂 会報 栗 中

Just believe in yourself

第124号

令和3年7月15日
尾道市立栗原中学校
PTA広報委員会



流されない『勇気』

尾道市立栗原中学校

校長 井上 一男

新型コロナウイルス感染症拡大により生活が一変し、2度目の新年度も4ヶ月を過ぎようとしています。今年度は、緊急事態宣言等で制約も多いなか、保護者の協力を得て、一人一人ができる感染症対策をしっかりと行い、教育活動を進めております。

しかし、3年生の修学旅行や体育大会の学校行事などは、延期や規模の縮小をせざるを得ない状況となっております。これらについては現在、実施に向け検討を重ねている段階です。また、部活動の自粛や南部地区春季大会中止など、生徒の活動の場も制限されています。大会に向け、日々の練習や準備を進め、気運も高まってきていたところだけに、とても残念な思いでいっぱいです。3年生にとっては最後の南部地区夏季大会だけは開催されることを願っています。

コロナ禍の影響は学校だけではありません。外出する機会が減ったことで、家庭で過ごす時間が増えています。それに伴い、SNSの利用頻度が増加し、トラブルも発生しています。特に、L I

NEグループの中で、友達の写真を無断で掲載したり、友達を誹謗・中傷するコメントを書き込んだりしている状況があります。私たちは、いけないことだと分かっているのに、つい周囲に引きずられてしまうという弱さを持っています。そんな流されやすい人間だからこそ、意識して自分自身の良心の声に耳を傾けていく必要があるのではないのでしょうか。周囲がどうであろうとも、良くないことには同調しない。何事も自分の良心に照らして判断し、なすべきことをなす。一人一人がそんな勇気を培うことが、学校全体がよりよい方向に変わっていく力になるのではないのでしょうか。

『桃李成蹊』という四字熟語があります。この言葉の意味は「桃や李（リ：すもも）の木はものを言う訳ではないが、美しい花を咲かせ、美味しい実を結ぶから、それに惹かれて人々が集まってくるため、おのずとそこへ到る蹊（ケイ：こみち）ができる。」ということです。このことから、徳がある人は、何も言わなくても、人々はその徳を慕って集まってくるということを表したものです。

動き出せば景色も変わります。手がかりの一つは、思いやりの心です。「もし、自分が相手の立場だったら」と考えてみると、自分自身を大切に思うのと同じように、他の人たちもまた大切にすべき存在であることに、改めて思い至るのではないのでしょうか。それに惹かれて友達が集まってきます。勇気を持って自分自身の行動を見直すきっかけにしてください。



「こんな時だからこそ…」

尾道市立栗原中学校PTA

会長 村上 純平

栗原中学校PTA会員の皆様には平素よりPTA活動へのご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。今年度からPTA会長をさせていただきます、村上純平と申します。どうぞよろしく願いいたします。

生徒の皆さんには、行事の中止や延期など、つらい思いをたくさんさせてしまいましたね。しか

し、制約の多いこんな時だからこそ、みんなが楽しく学校生活を過ごせるように、相手を思いやり、協力し合ってほしいと思います。相手の立場に立って行動するという事は、皆さんが将来大人になって社会で活躍する時も非常に大事なことになると思います。

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、予定していたPTA活動は実施できない状況が続いています。例年通りの活動ができないこんな時だからこそ、本当に必要なこと、大切なことは何かを改めて考える時なのかもしれません。PTAは生徒の皆さん、保護者の皆様、学校の先生方のためのものです。より良い栗原中学校PTAを皆様と共に創っていきたく思いますので、どうぞご協力をお願いいたします。